

目次

本シンポジウム企画の意図	5
登壇者のご紹介	9

〔 講演 ① イギリスからの報告 〕

“ 明日が楽しみ ” 参加型アートを用いた 介護施設入所者の健康・福祉向上

マリア・パシエチュニク・パーソンズ氏

Ms.Maria Pasiiecznik Parsons

Creative Dementia Arts Network 理事

Ⅰ イギリスにおける高齢者介護の状況	10
Ⅱ イギリスの高齢者	
(1) イギリスにおける高齢者問題	12
(2) イギリスの介護施設	14
(3) イギリスの認知症の人びとの状況	18
Ⅲ 介護施設でのアートの力：何を、誰が、どのように？	
(1) 参加型アートの実践	19
(2) 高齢者にとってのアートのメリット	23
(3) なぜ介護施設でアートなのか？	27
(4) その瞬間を大切に	32
(5) すべての記憶が失われるわけではない	34
(6) 絵画を鑑賞し、体験する	37
(7) 音楽は良薬	40
(8) 人生のプレイリスト	42
(9) ダンスで健康・幸福に	44
(10) 読書や詩の朗読	45
(11) 世代間アートの効果	48
(12) アート実践者向けの研修プログラム	49
Ⅳ まとめ	50

[講演② 日本からのレポート]

高島平ココからステーションの取り組み

杉山 美香 氏

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

同研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究員

Ⅰ はじめに	54
(1) 研究の背景と目的	55
(2) 研究の方法	58
Ⅱ 研究結果	
(1) 居場所づくりについて	59
(2) 『高島平ココからステーション』の利用状況	65
(3) 相談体制について	66
(4) 地域の社会資源とのネットワーキング	67
Ⅲ まとめ	73
[質疑応答]	75
[まとめ]	87